

# 2025 外国人留学生選抜

## < I 期 >

### 日 本 語

#### 注意事項

1. 全員が解答しなさい。(10:30~12:00)
2. 日本語は「問題冊子」が1冊、「解答用紙」が1枚、「原稿用紙」が1枚、合計3部ある。脱落等に気がついた場合は試験監督者に申し出ること。
3. 解答は「解答用紙」に記入すること。ただし、小論文の解答は「原稿用紙」に記入すること。  
小論文に字数制限はないので、用紙が足りない場合には試験監督者に申し出ること。
4. 「解答用紙」「原稿用紙」には、必ず受験番号と氏名を記入すること。
5. 試験終了後は、「問題冊子」「解答用紙」「原稿用紙」全てを提出すること。

問題Ⅰ 次の文章を読んで、下記の問題に答えなさい。

「AIを使っているとわかった作品には、あまり価値を感じない」

「クリエイターがAIを使っているのを見ると、複雑な気分になる a」

「良いイラストを見つけたときに、それがAIによるものなのか、人間によるものなのか、確認するようになった」

「AIを使った作品は、人間のつくった創作物と混ざらないように隔離する必要がある」

これらは生成AIブームの開始から現在にいたるまで、SNSなどで実際に見られている反応です。

実際には、創作のなかに「なんらかの生成を行うAI（機械）で生み出された要素」が混じっているという事態は、そこまで特別なものではありません。シンセサイザーやボーカロイド\*などは、そもそのコンセプトとして機械的な音声合成を行うものですし、数年前から存在するイラストの自動彩色も、現在の生成AIと呼ばれているものと本質的には同じ(大量の著作物からニューラルネットワークを学習し、出力が生成的)です。

上記の反応は、生成AIによる生成物が、人間が生み出す作品と表面上は見分けがつかないレベルに達して初めて表面化したものと言えるでしょう。

これは人類史上で例がなかった事態であり、このような反応のもとになる人間の価値観が長期的にどのようなようになっていくかは、筆者も(そして人類の誰にも)正確な予測は困難です。

一方、AIが生み出したコンテンツに対する現在のわれわれの価値観に関しては、生成AIブーム以前と以降に出た2種類の興味深い研究があります。これらの研究で得られた結果は、長期的なわれわれの価値観を考えるうえでヒントになるかもしれません。

まず1つ目の研究 b は、「人間のアーティストはAIを恐れるべきか? クリエイティブAIの認識に関するレポート」と題された論文で、2019年に行われたものです。この論文では実験の参加者に、「人間が制作した絵画とAIが制作した絵画を買うとしたら、どちらを買うか」「人間が制作した音楽とAIが制作した音楽を買うとしたら、どちらを買うか」という質問に対して回答させています。その結果、前者は90.1%、後者は93.1%の参加者が「人間によるものを買いたい」と答えています。

また、AIに任せたい仕事、逆に任せたくない仕事に関するアンケートでは、創造的な仕事や感情支援、高齢者ケアなど、いずれも感情や共感をともなう仕事が「任せたくない」と回答される傾向にありました。

記述式の回答では、AIと創作に関して「AIによってつくられた芸術は、決して人間には受け入れられることはない」など、AIによる創作に関して相当に否定的なものが確認されています。

この研究が行われた時点では、現在のようにAIと創作に関する激しい議論は世間一般では起きていませんでした。また、将来的に現在のような高性能なAIが登場するかどうかも

不透明な状況でした。

( ① ), AIによる創作に関してこのような否定的な傾向が見られたことから、人間が根源的に AI (機械) によって一定以上自動化された創作に対して、否定的な感情を持つことがうかがえます。

2つ目の研究 cは、「人間対 AI—AI が制作したアート作品よりも人間が制作したアート作品を好むのか。そしてその理由」と題された論文で、生成 AI の登場によって AI と創作に関する議論が本格化した 2023 年に行われたものです。

この実験では 150 人の被験者に対して、「人間がつくった」「AI が生成した」というラベルをランダムに割り振った画像を見せ、「どれくらい好きか」「どれくらい美的だと感じたか」「どれくらい深みや意図を感じられたか」という項目について、5 段階評価させました。この実験には大変面白い仕掛けがありました。

実は、実験に使用された画像はすべて AI によって生成されたもので、人間が制作したものは 1 つもなかったのです。つまり、この実験では「人間がつくった」「AI が生成した」とラベルが付いた画像の間で回答の傾向に差が出るとすれば、作品の物理的・表面的な性質は関係なく、「AI が書いたのか、人間が書いたのか」という作品の背景情報が評価に影響を与えていることとなります。

この実験の結果は、「人間が書いた」というラベルが付いた画像のほうが、どの項目についてもより高く評価されたというものでした。

以上の研究を踏まえると、人間がコンテンツを鑑賞する場合、コンテンツそのものではなく、その作品に付与される背景情報に大きな影響を受けていること、そして「人によって生み出された」という背景情報に対して肯定的な傾向を示すということは明らかです。

しかし、今後の技術発展を考えると、将来的に生成 AI によって生み出される作品は、現時点ではまだ見られる不自然な部分も克服し、人間の生み出す作品と表面上は見分けがつかなくなるでしょう。本章の冒頭で例に挙げた私のイラスト投稿に対する反応の違いが生まれたのは、「人間が生み出したものに高い評価を与えたい」というある種の本能的な価値観が根源にあったからだと言えるでしょう。

すでに現在の創作コンテンツにも、AI や機械によってある程度自動化された部分が混じっていることは珍しくありません d。将来的には、作者はともかく外部からは判断できないものがますます生まれていくでしょう。( ② ), AI か人間かを問う意義自体に、疑問が生じてくるかもしれません。

これ eは創作作品の鑑賞を楽しんできた筆者の私見になりますが、先ほどの研究における人間か AI かという二元論も、実際のところは本質的ではない気がします。

われわれは作品を鑑賞する際に、作品を生み出すクリエイターの情熱や、作品に込められたストーリーも含めて受け取り、感動しているのだと思います。生成 AI が発展する以前であれば、高品質な作品の背後に、自然とクリエイターの情熱と込められたストーリーが存在すると見なせました。( ③ )ある程度、AI や機械的な自動化の影響を受けているとしても、高い技量と根気、情熱がなければ、そのような作品を生み出せるわけがなかったの

です。

( ④ ),そこに自動化のレベルが何十段階も進んだ生成 AI が現れ、誰もが手軽に高品質な作品を生み出せるようになったことで、われわれの作品鑑賞における常識がうまく機能しなくなっているというのが、現在の状況だと思います。

おそらく今後、従来のクリエイターが、自身の感情面での自動化の許容度と、生成 AI の利用によって得られる効率化などの恩恵度合を考慮して、最適な利用ラインを選択していくと思います。人によっては、まったく利用しないという選択も考えられるでしょう。

生成 AI 登場以降に AI を利用してコンテンツ生産者になった人は、その利用ラインもゆるやかかもしれません。プロンプトを工夫する行為が、本人にとって情熱やストーリーを反映するものとしてとらえられるのであれば、それはそれとして尊重されてもいいと個人的には思います<sup>f</sup>。

では、鑑賞者側は何を基準にコンテンツを味わうのか。これも、人によって異なるラインができていくのですが、創作物を生み出そうとした人そのもの、あるいはコンテンツ上で表現された ( ⑤ ) や ( ⑥ ) のようなものに注目することになるのではないかと思います。

★シンセサイザーやボーカロイド：シンセサイザーは電子楽器のひとつ。ボーカロイドはコンピュータを歌わせることができる音声合成技術のこと。

出典：今井翔太（2024）『生成 AI で世界はこう変わる』SB 新書より

問1 文中「複雑な気分になる a」とは、どのような感情のことをいうか選びなさい。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. 悲しんでいる | 2. 怒っている  |
| 3. 喜んでいる  | 4. 困惑している |

問2 文中「1つ目の研究 b」の結果は、どのようになったか選びなさい。

1. 実験の参加者の90.1%は、AIが制作した音楽よりも人間が制作した音楽を買いたいと答えた。
2. 実験の参加者の93.1%は、人間が制作した絵画よりもAIが制作した絵画を買いたいと答えた。
3. 人間が制作した作品のほうが、AIが制作した作品よりも評価が高い。
4. 人間が制作した作品よりも、AIが制作した作品のほうが評価が高い。

問3 文中（ ① ）に当てはまる最も適切な語を選びなさい。

- |              |         |
|--------------|---------|
| 1. それにもかかわらず | 2. また   |
| 3. したがって     | 4. たとえば |

問4 文中「2つ目の研究 c」の結果は、どのようになったか選びなさい。

1. 人間がつくったアート作品と、AIが生成した作品の間に評価の違いはなかった。
2. 本当は人間が生成したアート作品でも、AIが生成したとラベルを付けたら高く評価された。
3. AIが生成したアート作品は、どの項目についても高く評価された。
4. 本当はAIが生成したアート作品でも、人間がつくった作品とラベルを付けたら高く評価された。

問5 文中「珍しくありません d」と同じ意味を持つ語を選びなさい。

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1. よくある   | 2. あまりない |
| 3. めったにない | 4. つねにある |

問6 文中（ ② ）に当てはまる最も適切な語を選びなさい。

- |           |         |
|-----------|---------|
| 1. しかしながら | 2. そもそも |
| 3. とはいえ   | 4. たとえば |

問7 文中「これe」は何を指していますか。

1. 先ほどの研究
2. AIか人間かを問う意義
3. 人間かAIかという二元論も本質的ではないという私見
4. 創作コンテンツ

問8 文中（ ③ ）に当てはまる最も適切な語を選びなさい。

1. 仮に
2. つまり
3. ただ
4. また

問9 文中（ ④ ）に当てはまる最も適切な語を選びなさい。

1. そしてまた
2. ところが
3. あるいは
4. ところで

問10 文中「それはそれとして尊重されてもいいと個人的には思いますf」とありますが、筆者がこのように考える理由を選びなさい。

1. プロンプトを工夫する行為に時間をかけても、AIの作品ほうが人間より優れているから。
2. どんなにAIが発達しても、人間の作品のほうが優れていることに変わらないから。
3. プロンプトに情熱やストーリーを反映させることで、AIが価値の高い作品を生み出すから。
4. プロンプトの作成に手間や情熱をかけた時間が、作品の価値を高める可能性があるから。

問11 本文の内容に照らして、文中（ ⑤ ）および（ ⑥ ）に当てはまる語として最も適切なものを選びなさい。

1. ⑤ こだわり      ⑥ 工夫
2. ⑤ 背景          ⑥ 情報
3. ⑤ 人間            ⑥ AI
4. ⑤ 物理            ⑥ 表面

問 12 本文の内容に合うものには○、違うものには×を書きなさい。

1. 人間が作品に対して行う評価は、作品の内容だけでなく背景情報にも影響を受ける。
2. 生成 AI を利用しても、クリエイターは何も恩恵を受けることがない。
3. 生成 AI の登場により、作品を鑑賞することに関する人類の常識が揺らいでいる。
4. 生成 AI による作品を評価することは、人類が初めて経験している事態である。
5. 創造的な仕事や高齢者のケアといった仕事も、AI に任せたほうが効率的だという意見が多い。

問題Ⅱ 次の文章【 A 】および【 B 】は、朝日新聞の「天声人語」というコラムの文章である。下記の問題に答えなさい。

【 A 】

スピードスケートの小平奈緒がレースを終え、リンクをゆっくりと回る。客席から大きな歓声<sup>①</sup>があがる。小平は指を立てて口にあてた。「静かに。次のレースがあるから」と言うかのように。その瞬間の写真が韓国の新聞「朝鮮日報」の記事にそ<sup>A</sup>えられていた。

次に控えていた韓国の李相花（イサンファ）は、五輪で3連覇が期待されていた。小平のしぐさ<sup>a</sup>は李への気配りのように見えた、と記事にある。結果は小平が李にまさった<sup>b</sup>。泣き崩れそうになった李を小平が抱擁したことも韓国メディアは手厚く<sup>c</sup>伝えた。

国際大会で何度も戦うライバルは、友人になった。李は語っている。「彼女が韓国の家に遊びにきたことがあった。私が日本へ行けば、いつも面倒<sup>②</sup>を見てくれる。特別な友達だ」。2人で一緒に走ってきた、とも。

ライバルの語源はラテン語の「川」にあり「対岸に住み同じ川を利用する2人」を指した。水をめぐる争いがあるためdという。2人の選手を見ていると、同じ川の流れのなかで生きる人、と読み替えたくなる<sup>e</sup>。

頂点での勝負について回る<sup>f</sup>のが、美しい気持ちばかりとは思えない。敵愾心（てきが いしん）も嫉妬心もあろう。国際大会となれば、国対国の色も帯びる。選手と選手のつながりに心が動く。先日は羽生結弦がスペインのライバルと抱き合う場面もあった。同じコートのもとで練習したなか<sup>B</sup>だという。

競い合い、励<sup>③</sup>まし合い、尊敬<sup>g</sup>し合える友達がいる。そうありたいと願うのは、もちろん競技の世界に限らない。

出典：朝日新聞 2018年2月20日朝刊「天声人語」より

承諾番号：25-2973 朝日新聞社に無断で転載することを禁じる

【 B 】

『ドラえもん』に出てくるセワシくんは、のび太の子孫である。彼は22世紀の世界に暮らしているが、あまり幸福<sup>④</sup>そうには見えない。未来人たちには便利な道具がたくさんあるのに、現代人と同様に、ときに空虚<sup>⑤</sup>な笑いを浮かべ、妙に言葉にとげがある<sup>h</sup>。なぜだろう。

ひとは便利な道具だけでは幸せになれない。のび太を幸福にするものは、どこでもドアとかタケコプターではなく、ドラえもんと友情なのだ。人気漫画はそんなこと<sup>i</sup>を教えてくれていると、思ってきた。

でも、最近は別の疑問も感じている。科学の進歩で、ドラえもんの道具に近いものが次々と（ あ ）時代、便利の意味がよく分からなくなってきたからだ。何でもスマホで手続きするのが、本当に便利なのか。便利って何なの？

iPhoneの新機種「15」が発売された。新しい機能がまんさい<sup>c</sup>らしい。楽しみだという

人も多いようだが、私の気持ちはワクワクにはほど遠い。スマホも家電も車も、頻繁に買い替えをせまられる。( い )十分だと思ってしまう。

いまあるものを修理し、使い続けるのが、カこんなに難しいのだろう。「古くならぬことが新しいのじゃないですかね」。昭和の映画監督、小津安二郎の名言を思い出した。

変わる大切さとともに、昨日と同じように今日があることの尊さをかみしめる。私たちはもう立ち止まれないのか。もしもそう問えば、ドラえもんは何と答えるだろう。どんな道具を、出してくれるだろう。

出典：朝日新聞 2023 年 9 月 24 日朝刊「天声人語」より一部改変  
承諾番号：25-2973 朝日新聞社に無断で転載することを禁じる

問 1 文中「しぐさ a」と同じ意味の語を選びなさい。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. 気分 | 2. 動作  |
| 3. 体温 | 4. 掛け声 |

問 2 文中「小平が李にまさった b」とはどういう意味か。

1. 小平が李に勝利した
2. 小平が李に負けた
3. 小平が李と勝負した
4. 小平が李に謝った

問 3 文中「手厚く c」と同じ意味の語を選びなさい。

- |         |         |
|---------|---------|
| 1. 軽く   | 2. 批判的に |
| 3. いち早く | 4. 丁寧に  |

問 4 文中「ため d」と同じ意味で使われているものを選びなさい。

1. あなたのためにコーヒーを持ってきました。
2. お金をためて旅行に行きたい。
3. 天気予報は当たったためしがない。
4. 雨が降ったため試合が中止になった。

問5 文中「読み替えたくなるe」はどういう意味か。

1. 軽く反論したくなる。
2. 強く賛成したくなる。
3. 別の言葉を当てはめたくなる。
4. あえて強調したくなる。

問6 文中「ついて回るf」はどういう意味か。

1. いつも離れずに付き従う。
2. 密着して回転する。
3. 異なる関係にある。
4. 同じ意味をもつ。

問7 文中「尊敬g」と反対の語を選びなさい。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 軽蔑 | 2. 敬愛 |
| 3. 傾倒 | 4. 称賛 |

問8 本文の  ～  に入る適切な表現を下記から選んで書きなさい。ただし、同じ語は1回しか使えない。

だからこそ	しかし	やがて	つまり
-------	-----	-----	-----

問9 文中の下線部 A～B を漢字で書きなさい。

問10 文中の下線部①～③の漢字の読み方を書きなさい。

問 11 文中「言葉にとげがある h」は、どのような言葉のことをいうか。

1. 正確で無駄のない言葉
2. 冷たくきつい言葉
3. 暖かく優しい言葉
4. 大きな声の言葉

問 12 「そんなこと i」とはどういうことを指しているか。

1. 便利な道具さえあれば、人は幸せになれるということ。
2. ドラえもんが出してくれる道具は、人を幸せにするということ。
3. のび太とドラえもんの友情は、人を幸せにするということ。
4. 優れた道具があるだけでは、人は幸せになれるということ。

問 13 文中（ あ ）に当てはまる言葉を選びなさい。

1. 現実になろつつある
2. 現実になれつつある
3. 現実になるつつある
4. 現実になりつつある

問 14 文中「頻繁 j」と同じ意味の語を選びなさい。

- |         |         |
|---------|---------|
| 1. しばしば | 2. まれに  |
| 3. つねに  | 4. まったく |

問 15 文中の（ い ）に入る語を選びなさい。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. でも | 2. あと |
| 3. もう | 4. ただ |

問 16 文中「名言 k」とはどのような言葉ですか。

1. 有名人が話した言葉
2. 誰もが知っている言葉
3. 確かにそうだと感じさせる言葉
4. 意味がよくわからない言葉

問 17 筆者は新しい iPhone15 についてどのように考えていますか。

1. 発売を待ち遠しく感じている。
2. 必要ないのではないかと思案している。
3. どんな機能があるか楽しみにしている。
4. 自分に使いこなせるか不安になっている。

問 18 本文の  ～  に入る適切な表現を下記から選んで書きなさい。ただし、同じ語は 1 回しか使えない。

ところが	どうして	そもそも	ずっと
------	------	------	-----

問 19 文中の下線部 C～D を漢字で書きなさい。

問 20 文中の下線部④～⑥の漢字の読み方を書きなさい。

問 21 文中「もしもそう問えば、ドラえもんは何と答えるだろう。どんな道具を、出してくれるだろう x」について考えてください。あなたがドラえもんだったら、この質問に何と返事をしますか？（道具は出さなくてもいいです。）あなたの答えを作文してください。

（関係のないことを書くと 0 点になります。）

<問題は以上です>